

**富山県ものづくり研究開発センターでの
「セルロースナノファイバー製品実証・試作拠点」の整備について**
---文部科学省「地域科学技術実証拠点整備事業」の採択---

国(文部科学省)の第二次補正予算「地域科学技術実証拠点整備事業」の募集に対し、富山県(ものづくり研究開発センター)から応募していた標記事業が、平成28年12月28日に採択されました。

今後、今回の採択を受け、ものづくり研究開発センターでの「セルロースナノファイバー(CNF:シーエヌエフ)製造実証・試作拠点」の整備を進めていきます。

【今回、採択された事業の概要】

- 1 事業主体 富山県(ものづくり研究開発センター)
- 2 整備場所 県ものづくり研究開発センター(高岡市二上)
- 3 事業目的

平成26年度から実施している「とやまナノテククラスター(H26~30、文部科学省からの補助)」により、CNFを複合化した樹脂素材などを開発。これらの成果を活用し、軽量高強度なCNF樹脂素材(自動車の内・外装材等)の実寸大の試作品の製造・評価など、事業化を行うための拠点(施設や実証設備)を整備。

セルロースナノファイバー(CNF)は、木材繊維をナノレベル(1mmの100万分の1)にまで微細化した生物由来の材料で、環境負荷が小さく、軽量(鉄の1/5)で、引張強度が高く(鉄の5倍)、温度変化による長さの変化が小さく(ガラスの1/50の熱膨張)、生体へのアレルギー反応が少ないことなどから、「次世代の素材」として、自動車や機械、医療などの幅広い分野に应用が期待されている。

4 整備概要

(1)施設の整備

工業技術センター中央研究所(高岡市二上) ※既存施設の改修 約400m²

(2)設備の整備

- ・ **大型湿式微粒化装置** (高圧の水を利用して、パルプからCNFを製造する装置)
- ・ **高混練二軸押出機**(樹脂とCNFを、2本のスクリューを使って攪拌・混合し、小さい穴から押し出して、射出成形材料となる細い棒状の材料を作成する装置。)
- ・ **高機能材料用ナノフォーカスエックス線CT**
(CNFの3次元的な分散状態(均一に分散しているかどうか)を確認するため、解像度の非常に高いエックス線断層撮影装置) など **14機種(予定)**

※本件に係る問い合わせ先

富山県工業技術センター 中央研究所 高林

Tel :0766-21-2121 e-mail : takabaya@itc.pref.toyama.jp